# 薬剤部

薬剤部長　大倉　裕祐

## ●　部門の特色

基本理念は「患者のQOL改善を目的とした責任ある薬物療法を提供する」である。

① 調剤・製剤・注射・医薬品情報等の業務を行った上で、すべての病棟・部署に薬剤師を配置し、薬物療法に積極的に関与するとともに、入院前から入院中、退院後も含めたシームレスな連携を推進する。

② 薬剤師職能を発揮しチーム医療において中心的な役割を担えるよう努める。

③ 急性期医療を支援するゼネラリスト及び小児・妊産婦・救急・感染制御・疼痛緩和・代謝疾患・循環器疾患・がん等のスペシャリストを育成する。

この 3 つの基本方針のもと、以下の業務を中心に行っている。

1. 入院患者やご家族への薬学的管理（病棟薬剤業務、薬剤管理指導業務、薬剤情報提供業務）の提供
2. 医薬品の適正使用の促進
3. 副作用報告（安全性情報）の収集・周知、厚生労働省への報告（HOSP-net の医薬品情報システムの利用、リスクマネージメントへの取り組み）
4. 院内製剤・無菌製剤（IVH、抗がん剤）への取り組みの充実
5. 治験及び臨床研究の対応
6. スペシャリスト育成のため各種研修会や学会への参加、発表及び講演
7. 大学薬学部との共同研究の推進、及び卒業論文の指導
8. 保険薬局との地域連携の強化
9. 医師業務のタスクシフトへの取組

## ●　認定資格取得状況（2022 年 4 月 1 日）（金川病院含む）

| | |
|---|---|
| ・感染制御認定薬剤師 | （1 名）（日本病院薬剤師会） |
| ・妊婦・授乳薬物療法認定薬剤師 | （2 名）（日本病院薬剤師会） |
| ・日病薬病院薬学認定薬剤師 | （4 名）（日本病院薬剤師会） |
| ・がん専門薬剤師 | （1 名）（日本医療薬学会） |
| ・外来がん治療認定薬剤師 | （1 名）（日本臨床腫瘍薬学会） |
| ・抗菌化学療法認定薬剤師 | （1 名）（日本化学療法学会） |
| ・NST専門療法士 | （2 名）（日本臨床栄養代謝学会） |
| ・日本糖尿病療養指導士 | （3 名）（認定機構） |
| ・小児薬物療法認定薬剤師 | （2 名）（日本薬剤師研修センター） |
| ・認定実務実習指導薬剤師 | （5 名）（日本薬剤師研修センター ） |
| ・スポーツファーマシスト | （2 名）（日本ｱﾝﾁﾄﾞｰﾋﾟﾝｸﾞ機構） |

## ●　薬学教育

実務実習生受入れ（11 週間）　10 名（薬学部 5 年生）

薬剤師インターンシップ　5 名

●業務実績（年間）

| | 処方箋枚数 | 院内 | 院外 |
|---|---|---|---|
| 外来 | 調剤 | 9,190 枚 | 81,573 枚 |
| | 注射 | 38,479 枚 | （発行率：89.83%） |
| 入院 | 調剤 | 139,780 枚 | |
| | 注射 | 244,191 枚 | |
| 外来 | 薬剤情報提供件数 | | 18,695 件 |
| | がん患者指導人数 | | 23 人 |
| | がん患者指導管理料ハ請求件数 | | 80 件 |
| | 医薬品鑑別人数 | | 283 人 |
| 入院 | 薬剤管理指導件数 | | 20,402 件 |
| | 請求件数 1（ハイリスク薬管理） | | 10,695 人 |
| | 請求件数 2（1 以外） | | 9,707 件 |
| | 麻薬管理指導加算 | | 342 件 |
| | 入院（持参薬）鑑別件数 | | 10,341 件 |
| 医薬品情報 | CoMedix の更新・伝達 | | 115 件／年 |
| | 医薬品安全性情報報告件数（厚生労働省への報告） | | 6 件／年 |
| | DI ニュース発行件数 | | 5 件／年 |
| 院内製剤・無菌製剤 | TPN 調剤件数 | | 2,005 件 |
| | 抗がん剤調整件数 | 外来 | 3,758 件 |
| | | 入院 | 4,705 件 |
| | 無菌製剤処理料1　請求件数 | | 8,242 件 |
| | 無菌製剤処理料2　請求件数 | | 1,910 件 |
| | 外来化学療法加算請求件数 | | 3,701 件 |

| | | 全体 | 内服薬 | 外用薬 | 注射薬 |
|---|---|---|---|---|---|
| 医薬品管理 | 全品目数 | 1,477 品目 | 711 品目 | 213 品目 | 553 品目 |
| | 後発医薬品数 | 283 品目 | 130 品目 | 40 品目 | 113 品目 |
| | 後発医薬品比率品目割合 | 55.3% | 50.0% | 47.1% | 67.7% |
| | 数量割合 | 82.0% | 81.9% | 85.8% | 81.7% |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 治験管理室 | 治験・製造販売後臨床試験 | 実施プロトコル数 | 44 件 |
| | | 実施症例数（新規） | 91 名 |
| | 製造販売後調査等<br>（使用成績調査・特定使用成績調査） | 新規受託課題数 | 35 件 |

## ● 研究実績

学会発表

1)　古賀 和馬
血液透析および持続的血液濾過透析施行による抗がん剤の排液への移行について
第 13 回　がん薬剤学会　2021 年 5 月 29 日

2)　平澤 裕美子
妊婦における症例データベースを利用した妊娠中の薬剤使用に対するリスク評価
第 31 回　日本医療薬学会年会　2021 年 10 月 9 日

3)　角南 博子
肺がん患者におけるシスプラチン、カルボプラチン誘発性吃逆に与える因子の検討
第 31 回　日本医療薬学会年会　2021 年 10 月 9 日

4)　大土井 祐介
当院におけるレムデシビルの使用実態調査
第 59 回　中国四国地区国立病院薬学研究会　2021 年 9 月 4 日

講演会

1)　古賀 和馬
岡山医療センターRRS・ICU における薬剤師業務の課題と取り組み
第 2 回　岡山救急・ICU 薬剤師 WEB 講演会　2022 年 3 月 23 日